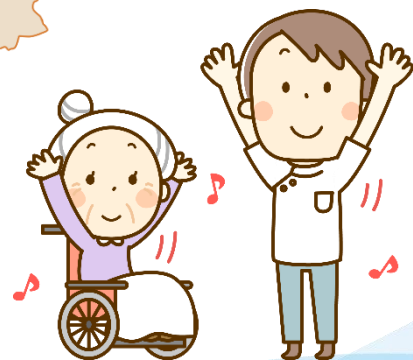


第10次 沼津市高齢者保健福祉計画

《第10次沼津市老人福祉計画・第9期沼津市介護保険事業計画》

【ぬまづ高齢者元気創造プラン】

(2024年度～2026年度)



令和6年3月
沼津市

はじめに

WHO（世界保健機関）の発表によると、2023年版の国別平均寿命（男女総合）のトップは、我が国であるとのこと。平均寿命が延伸している一方、我が国では超高齢化と少子化の進行により、高齢者を支える介護人材等の不足や医療・介護等における社会保障費の増大等、多方面にわたる影響が生じてきております。団塊世代全員が後期高齢者となる2025年問題、そして、人口減少と高齢者人口がピークに達すると言われる2040年問題を見据えて、介護予防事業の推進や介護サービスの充実といった取組は、地方公共団体において喫緊の課題となっております。



この課題を解決していくために、私たち一人ひとりが、健康でいきいきと暮らす期間である「健康寿命」を延伸させることが特に重要となっております。そして、介護や支援を必要とする状況になった際には、サービスを円滑に受けられる体制を整えておくことが求められております。

本市ではこれまで、第9次沼津市高齢者保健福祉計画「ぬまづ高齢者元気創造プラン」の基本理念である「住み慣れた地域で、ともに支え合いながら、高齢者が自分らしく、安心して暮らせるまち」の下、社会情勢の変化や高齢者のニーズを把握しながら積極的に高齢者施策を展開し、地域団体や医療、介護等の関係者によるネットワーク構築を図ってまいりました。

第10次となる本計画では、この基本理念を継承して、引き続き健康づくりや居場所づくり、認知症理解に関する普及啓発、介護予防と生活支援の推進を図るほか、関係者間の更なる連携強化を図り、全ての世代が支え合いながら健康で心豊かに暮らせる「地域共生社会」の実現を目指してまいります。市民の皆様には、地域福祉の担い手として、各種活動への積極的なご参加とご支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました沼津市高齢者保健福祉計画策定懇話会の委員の皆様と、実態調査としてアンケートにご協力いただきました多くの市民の皆様にご心よりお礼申し上げます。

令和6年3月

沼津市長 頼重 秀一

目次

第1章	計画の概要	1
1	計画の趣旨（背景と目的）	2
2	計画の位置づけ	3
3	計画の期間	5
4	第9次沼津市高齢者保健福祉計画の評価	6
第2章	高齢者の現状	9
1	統計からみる沼津市のすがた	10
2	調査からみる沼津市のすがた	17
第3章	日常生活圏域	27
1	日常生活圏域の設定	28
2	地域包括ケアシステムの基本的な考え方	30
3	日常生活圏域カルテ	32
第4章	基本理念・基本施策	41
1	基本理念	42
2	基本施策	42
3	施策の体系図	44
第5章	計画各論	47
	基本施策1 生きがいと健康づくりの推進	48
	基本施策2 安心して暮らせるまちづくり	53
	基本施策3 地域における支援体制の整備	60
	基本施策4 自立支援と介護予防及び重度化防止	66
	基本施策5 在宅医療と介護連携の推進	72
	基本施策6 認知症施策の推進	74
第6章	介護保険サービス量等の見込みと保険料	81
1	総人口及び高齢者人口の推計	82
2	要支援及び要介護認定者の推計	83
3	施設・居住系サービス利用者の推計	84
4	居宅サービス対象者の推計	85
5	介護保険サービス量の見込み	86
6	介護保険サービス事業費等の見込み	89
7	第1号被保険者の保険料	91
8	介護サービスの充実と円滑な利用	93
第7章	計画推進のために	97
1	計画の周知啓発	98
2	計画の進行管理及び評価・点検	98
資料編		99
1	計画の策定体制及び策定までの経過	100
2	介護保険サービス一覧	106
3	地域支援事業一覧	108